

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

50

平成 26 年 7 月 1 日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地
八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506
ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

第
27
回

福祉の つどい



「松原ひろば」
によるコーラス



心身障害者(児)
団体連合会のみなさん



毎年恒例
おもちまき



いきいき
フチファーム
さんでは美味しい
ジャムなど販売



川之石高校書道部
書道パフォーマンス



平成26年6月1日(日)10時から、新町ドームで第27回福祉のつどいを開催しました。(八幡浜市ボランティア協議会・八幡浜市社会福祉協議会共催)当日は天候にも恵まれ、約500名のボランティアスタッフと、約1,000名の市民の方々に賑わいました。

昨年の第26回福祉のつどいでは、「えがお」をサブテーマに掲げ、恒例の歌や踊り、四国中央市からお越しいただいた「しこちゅく・ほこほこネット」のみなさま、地元川之石高校書道部による書道パフォーマンスや各ブースのボランティアの方々、会場全体で盛り上げていただきました。たくさん「えがお」に出会うことができた「福祉のつどい」だったのではないかと思います。

今回は、「人と人」「顔と顔」「言葉とことば」顔でつなげる和(輪)の心くをサブテーマとして掲げました。最近では、パソコンや携帯電話を利用し、インターネットやメールでのデジタルなやり取りが当たり前になっていきます。そのような今だからこそ、顔と顔をあわせ、言葉(ことば)を交わし、人と人とのつながっていく温かみのある関係が見直されています。

「福祉のつどい」を通して、地域

住民、各関係機関・団体や商店街等、普段様々な環境で生活している者同士が集まることで、新たな出会い、交流のきっかけとなることを目指しました。

今回の新たな出会いを紹介します。

笑顔で届けます なつかしのメロディ

童謡の会「うららら」



童謡の会「うららら」は、会員14名が生き生きと活動されています。

日頃は、地元千丈地区で行われる敬老会などの行事や、市内の介護施設を訪問して、皆さんの歌声を届け

ることで、お聞きになる方を元気づけ、笑顔にする活動をされています。当日のステージでは、星に願いを(ハンドベル演奏)、日本昔ばなし、桃太郎や花咲じいなど、ハンドベル演奏とあわせて、昔懐かしい童謡を歌声にのせて届けていただきました。

うらららの皆さん「楽しんでできました。このような場に出演することは初めてで、福祉のつどい本番を目指して、会員全員が気持ちを一つにして練習することで、モチベーションアップにつながりました。ありがとうございました。」



ハンドベルの澄んだ音色と歌声を届けてくれました!

寸劇(振り込め詐欺)

八幡浜警察署



犯人、被害家族に扮する劇団「真穴」の皆さん

八幡浜警察署の劇団「真穴」に所属する警察官7名による特殊詐欺(振り込め詐欺)の被害防止のための寸劇を熱演いただきました。

実際に起きた事件をもとに、高齢者被害が多い事例を示しながら、大切な貯金を失わないよう注意を呼びかけていました。

劇団の皆さん「自分たちが一生懸命演じることで、特殊詐欺の被害防止につながれば・・・」

今後も、市内の公民館で特殊詐欺に関する寸劇が予定されています。

ただじゅんのおはし劇場 「だだすこだんだん」

ただじゅん氏



迫力ある獅子舞踊り！『厄よけ厄払い 獅子舞』

福祉のつどいでは、毎年市外の団体等をお招きして、外からの新しい風を送りこんでもらっています。
今回は、舞台実演家・表現活動インストラクターのただじゅん(多田純也)さんにご出演いただき、会場を盛り上げていただきました。
ただじゅんさんは、岩手県生まれ。日本の芸能専門歌舞団、劇団をへて独立され、独自の公演活動で全国の保育園、幼稚園、児童館、障がい児施設や高齢者施設などを巡演されています。



ただじゅんさんの公演に見入る来場者の方々

演目にある「だだすこだんだん」。だだすこは太鼓の音。だんだんは、「暖」あたかな「談」おはなして、だんだん心が「弾」はずみだす！だだすこだんだんは、岩手の民俗芸能の太鼓の口唱歌(くちしょうか)の一節からタイトルをいただいているそうです。
公演では、その名のとおり、ただじゅんさんの優しい笑顔と巧みな話術で会場を包み、皿回し、三味線演奏、獅子舞踊りなど、多彩で迫力ある公演に、来場された市民の方々はくぎ付けになっていました。
日本全国を巡演されるただじゅんさんには、またとない機会ということで、翌2日の子育てサロン研修会でも講師としてご指導いただきました。



会場ブースでも新たな出会いがありました！



八幡浜警察署 (八幡浜地区施設事務組合消防署との合同ブース)

あそびの中で育つ「つながる力」「表現力」



「ただじゅん」こと多田純也さん

「ただじゅんのあそびっこ」こころもからだもまるごと育てるあそびの力」と題して、あそびを通したコミュニケーションや身近なもので簡単に作ることのできるおもちゃの紹介、身体で表現するあそびについて、参加者全員で体感する講座を開いていただきました。

ひらいた身体でコミュニケーション

現在、日本の子どもたちは、ゲーム機器やパソコンなど対機械であそぶことが増えています。自分と機械の間であそびが完結してしまい、周りの友達とコミュニケーションをとりながら遊ぶことが少なくなっており、また、身体が閉じてしまっています。昔は、コマやあやとり、お手玉など、身体を開いて行い、友達にも「ほらほら」と見せたくなるようなものばかりでした。開いた身体は、コミュニケーションがとりやすい身体です。周りの友達を巻き込みながら、コミュニケーションをしてあそ

んでいくことが、成長する上では大切になってきます。



手作りおもちゃでコミュニケーション

異年齢の集団で自分たちでルールを決めて

昔ながらのコマあそびやお手玉あそびをしていても、それを検定にしてしまうと、それはあそびではなくてなります。大人の決めたルールに従いながらあそぶのではなく、自分達の頭で考えてルールを変えていくと

いうことは、あそびの中でしかできません。

また、勝手にルールを変えずに、「こうやって変えようよ」と友達に働きかけて同意を得ていくという経験を子ども達の頃にたくさんしておかないと、大人になって指示されることをやるだけの人になるのではないのでしょうか。子どもの頃に、異年齢の集団で身体を使って思いっきりあそびながら、ルールを面白いように変えていく訓練を、ドキドキワクワクしながら行うことが、大切です。

多様なあそびの中で多様な感性が育っていく

講座の中で、たくさんのおもちゃを作り、あそびました。紙皿や画用紙、折り紙など、身近にあるもので作ることができるものばかりでした。子どもと何かを作っているとき、気が付けば「そこを3センチ切らないとダメ」などと、指示をしてしまうことがあるのではないのでしょうか。子どもは、大人の発想を超えたものを作ってくれます。そのために手作りおもちゃあそびをしているので、大人が細かい指示を出しては、子どもがどんどんやる気をなくしてしまいます。

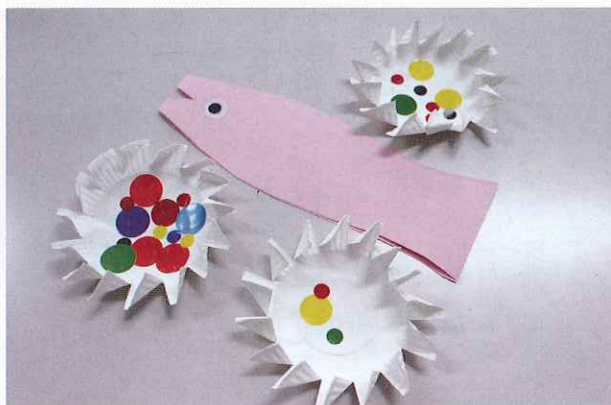
自分達で作っていくおもちゃあそびもあれば、身体で表現するあそびもあります。講座の中で、目玉のシールを使った表現あそびがありました。手の甲にシールを付けて、何かの生き物を表現するというもので、参加者は試行錯誤しながら表現していました。

世の中には、目標を持って取り組まないといけないものもたくさんあります。しかし、あそびの中で自分を表現する際には、その表現が、客観的に見て合っている・いないなどという評価が全てではありません。

みんなの顔が違うように、声が違うように、考えが違うように、みんな違います。違うから、違う表現があっても良いのです。あそびは自分が楽しくて、ドキドキワクワクする場をみんなで作っていくものです。それが、人生を豊かにしてくれます。

表現するということは、内側が外側に出ること。考えていることが外に出て、誰かに伝えることができるということ。だから、表現が苦手な人は一人もいません。子どもたちが大人になって世の中を動かしていくときに、自分の頭で考えてみんなで想像して、世の中を変えていく人になってもらうために一番大事なことはあそび尽くすことです。あそび

尽くして、その中で皆とつながる力、自分を表現する力を養うこと。それが、一番大切です。



作って、あそんで、自分を表現

自分を表現することが苦手な若者が多くなっている現代。子どもの頃に行うあそびの大切さを改めて感じることができました。大人が関わらず子ども自身の発想に委ねることが必要であると気づくことができる講座となりました。



子育てサロンとは：

八幡浜市内には、12のふれあい子育てサロンがあります。

八幡浜市で子育てをがんばるお母さん・お父さん、お子さん同士がお友達となり、楽しく交流する場です。参加対象は就学前の児童とその保護者です。

各サロンにはお世話人さんがおり、毎回趣向をこらしたメニューを考えています。参加する皆さんが楽しめるものから、子育てをす

る上でためになるものまで、様々な内容を準備して、みなさんをお待ちしています。

ご興味のある方は、八幡浜市社会福祉協議会(☎23・2940)へお問い合わせください。



市内ふれあい子育てサロン一覧

地区名	サロン名	開催場所
江戸岡	えどおかポップ	江戸岡地区公民館
松 蔭	まつかげランド	松蔭地区公民館
白 浜	のびのび白浜	白浜地区公民館
千 丈	ミッキーハウス	千丈地区公民館
神 山	ひよこっこ	神山地区公民館
川 上	いないいないばあ	川上地区公民館
真 穴	にこにこクラブ	真穴地区公民館
双 岩	ぼっぼくらぶ	双岩地区公民館
日 土	エンゼル	J A 日土2階和室
喜須来	すくすくきすき	保内町多目的集会所
川之石	ハッピー	中央公民館保内別館
宮 内	たんぽぽ	本町公民館

社協会費のご協力を お願いいたします

社協会費とは

毎年7月より市民のみなさまにご協力をお願いしております。

社協会費は、昭和42年よりはじまり、八幡浜市の地域福祉を支えるために役立てられてきました。社協会費は、赤い羽根共同募金と並び、八幡浜市の地域福祉を推進していく上で大変貴重な財源となります。

社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進することを目的とした民間の社会福祉団体です。現在、ふれあいのあるまちづくりを進めるため日々活動しています。市民誰もが住み慣れた八幡浜で暮らしていただけるよう、福祉の視点で地域に関わっています。

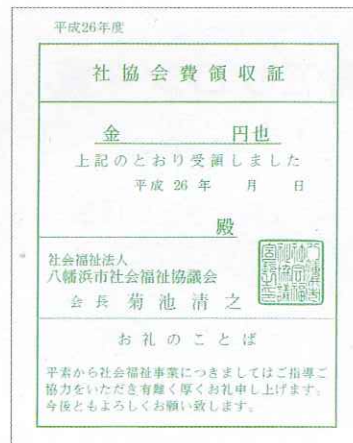
年6回発行しているこの社協だよりでも、八幡浜市社会福祉協議会の取り組みを紹介していきます。

- 一般会費（各世帯にご協力いただけます。）
会費…500円
- 特別会費（各世帯、個人、団体、企業のみなさまにご協力いただいています。）
会費…1000円

7月より、市民のみなさまにご協力をお願いをさせていただきます。社会福祉協議会の取り組みにご賛同いただき、間接的に地域福祉活動にご協力くださいますよう、よろしくお願ひします。
みなさまの善意に基づき、あたたかな、こころふれあうまちづくりに向けた活動を推進していきます。

平成 25 年度社協会費納入額

地区社協名	会費納入額(円)
江戸岡	493,900
松蔭	628,850
白浜	755,250
千丈	600,000
神山	864,500
舌田	130,800
川上	230,700
真穴	345,735
双岩	291,000
日土	397,500
喜須来	557,000
川之石	709,000
宮内	700,000
磯津	131,000
合計	6,835,235



社協会費を納入していただいた方にお渡ししています。



生活困窮者支援を通じた 地域づくりを目指して

平成26年5月16日(金) 13時30分
から、八幡浜市役所八幡浜庁舎5階
大会議室において、平成26年度八幡
浜市民生児童委員協議会総会が開催
されました。民生児童委員、主任児
童委員、八幡浜市長、八幡浜市役所、
八幡浜市社会福祉協議会含め約13
0名の方が出席されました。八幡浜
市には114名の民生児童委員、22
名の主任児童委員さんが地域福祉の
向上に取り組まれております。

んの日々の記録が、地域福祉の政策
提言につながっていることが、あら
ためて実感できました。
20分時間をいただき、八幡浜市社
会福祉協議会より生活困窮者への支
援について、八幡浜市でも取り組み
が始まったこと、民生児童委員活動
との連携をお願いしました。

八幡浜市民生児童委員協議会会長
三根生忠明さんから「少子高齢化
や核家族化など地域社会は複雑多様
化しており、民生児童委員の役割は
重要で期待も大きい」と総会挨拶を
されました。議事の平成26年度事業
計画等については、社会福祉協議会
との連携や生活困窮者自立促進支援
事業への協力が明記され、承認され
ました。



挨拶される三根生会長

また、本年度も八代中学校の福祉
教育に関わる機会を設けていただき
ました。総合学習の時間にボランティ
アコースを選択した生徒21名に対し
て、八幡浜市内でボランティアに関
わる人、障がいのある人など福祉に
関わる方々のご協力を得ながら、体
験を通じた学習を行います。
学生である間は、家庭と学校で過
ごす時間が大半であり、その日常外
の人やものとふれあう機会はなかな
かありません。地区外に住んでいる
人と出会い、交流する機会にいたっ
ては、実質ほとんどないのではない
でしょうか。
福祉教育を学ぶことで、日常では

身の周りの福祉にふれ、 ノーマライゼーションを考える

八幡浜市社会福祉協議会では、市
内の学校で様々な福祉教育に取り組
んでいます。
小学校では、高齢者疑似体験セッ
トを用いてノーマライゼーションや
バリアフリーについて学ぶ機会を持っ
ています。知らず知らずに作ってし
まう心のバリアを、体験を通して取
り去ることを目的に行っています。



高齢者疑似体験セットで高齢者の生活を知る

※「ノーマライゼーション」
障がいのあるなしに関わらず、お
互いに助け合い、支え合いながら
生活することが社会の本来あるべ
き姿であるという考え方。

平成26年度 精神保健ボランティア 養成講座を開講します！

先月発行の社協だより49号で、精神保健ボランティア『はまかせ』のみなんさんに日頃の活動や思いについてインタビューさせて頂きました。その中で、「養成講座を受けたいら、新しい世界を知ることができるとかと思っています。精神障がいを抱える方の周りでサポートするあったかい世界を知ってほしい。」と言われていました。

「気負いなく、気軽に、「いるボラ」で：そんなボランティアさんを養成する講座を、今年も開講します。精神障がいに対する理解を深め、社会参加を促進し、地域住民の精神保健福祉の向上を図るためのボランティアを育成するため、実施します。興味を持っていただいた方は、お気軽にお問い合わせください。」



真剣に受講しています

平成25年度受講生の感想

● どの回も充実していて、毎回楽しみでした。当事者の方々と接したり、講義を聴いたり、貴重な体験をさせていただきました。いろいろな角度から精神障がいについて考えることができました。正しく知ることの大切さを改めて感じました。

● とても勉強になりました。「なんとなく」と、思っていたことが明確になり、再確認し、知識も得ることができたように思います。



【詳細】

■ 日程

平成26年9月11日(木)
～12月25日(木)

■ 時間

13時30分～15時30分

■ 会場

八幡浜みなと

みなと交流館会議室他

■ 定員

20名程度
無料

■ 受講料

八幡浜市社会福祉協議会

■ 主催

八幡浜市社会福祉協議会

■ 申込締切

平成26年8月22日

講座のお申込み・お問い合わせは、八幡浜市社会福祉協議会地域福祉課(☎23・2940)へ電話にてお願いします。

電動自転車 の安全登録を しましょう

電動自転車を利用している方が増えています。それに伴い、電動自転車関連の交通事故が増えているとともに、今後盗難や遺失も増えてくるのではないかと懸念されます。しかし、市内で電動自転車を利用されている方を把握できていない現状があります。

そのような中、電動自転車の盗難防止や盗難にあった場合の早期発見、交通事故の防止や安全講習を充実させるために、「愛媛県電動自転車安全登録制度」が設けられました。

登録の方法や制度の概要など、詳しくは八幡浜交通安全協会(八幡浜警察署内)24・4895へ。
安全に電動自転車を利用できますように、登録をお願いします！



電動自転車利用者の林さん。安全登録をして、市内を走っています。